



建設ビジネス

学生から業界関係者まで楽しく読める建設の教養

高木健次

Kenji Takagi



All About THE
**CONSTRUCTION
BUSINESS**

CROSSMEDIA PUBLISHING

序 章

日本が世界に誇る
寿司、アニメ、建設職人

Chapter 0 :

Japan's world-class sushi,anime,architectural engineer

「日本の大工の技はアートだ！ 弟子入りさせてくれ！」

日本の大工技術を発信するYouTuber「大工の正やん」。そこに寄せられた海外の方々のコメントです。YouTubeチャンネル登録者数はなんと国内外合わせ106万（2024年8月時点）。

海外で評価される日本の技術には寿司やアニメがありますが、実は大工をはじめとする「建設職人」も今、注目されています。日本の災害後の鉄道・道路などの復旧が早いため「日本の職人は魔法を使えるのか？」と海外から驚かれたこともあります。

工事をする職人だけでなく、建物を設計する建築士も日本人が活躍しています。「建築界のノーベル賞」と呼ばれ、世界的な建築家を称える「プリツカー賞」を世界で最も多く受賞しているのは、安藤忠雄氏をはじめとする日本人です（2024年時点）。

「誰もが使うスマートフォン（以下、スマホ）にも建設業界が関わっている」、こう聞く意外でしょうか？ 建設業界と言えば大工をはじめとする「家の工事」のイメージが強いですが、実際は道路、橋、河川の土木工事、工場や倉庫といった非住宅工事など、「家以外」の工事の方が大きなお金が動きます。例えば、皆さんがスマホを使えるのも、通信工事業者による基地局工事のおかげです。空調工事業者がいなければ、暑い夏にエアコンは

使えません。雪国の除雪をしてくれているのも多くは地元の土木工事会社です。

しかし、そんな建設業界でどんな人たちが働き、どんな会社があるのか、知る機会は意外とありません。日本の工事現場の多くは「囲い」で隠され、外から中の様子を見ることは難しいためです。「生活に欠かせないけど、よく知らない存在」が建設業界です。

残念ながら建設業界は情報発信がヘタです。佐藤健さんら有名俳優を起用した大手建設会社（ゼネコン）のテレビCMなどで、最近ようやく一般の方の目に触れるようになった程度でしょう。建設会社はあまりTVドラマなどの舞台にならず、報道の機会も少ないです。そのため、ドローン（無人航空機）などを活用した「工事のハイテク化」が進んでいるなど、この15年の業界の変化があまり知られていません。

「きつい・汚い・危険」の「3K」はバブル絶頂の1989年に生まれた「バブル語」で、建設業界などの肉体労働について評した言葉です。しかしその「3K」も大きく変わります。例えば「危険」に関してですが、建設業界の死傷労災件数は30年前の4分の1以下に減少しています^(※1)。「若者の建設業界離れ」と報じられることもあります。実はこの10年、建設業界に新卒で入社する若者は増加傾向にあり、特に女性が増加しています。女子大学、専門学校で建築系学科の開設が相次いでいるほか、高専（高等専門学校

校)や工業高校の学生に大手企業の求人が殺到し、年収も上昇するなど、15年前と比較すると大幅に状況が変わっています。「AI(人工知能)に淘汰されない仕事がしたい」と銀行や芸能関係など異業種から建設会社転職する人もいます。本書ではそんな建設業界の「今」と「ディープな面白さ」「課題と未来」を最新データと現場への取材を通じて、紹介していきます。

ビジネス面でも建設業界は大きなお金が動きます。国内建設投資は増加を続け、2023年度は過去10年で最大規模の70兆円(※2)となる見通しです。日本が世界に誇る漫画の市場規模が国内7000億円(※3)ですから、漫画の100倍、建設業界はお金が動いています。災害の多い日本では、災害対策工事の予算が毎年安定的に確保されるほか、半導体工場、物流倉庫、データセンターなどの新設需要も旺盛なためです。今後は日本の「Shokunin」が世界で活躍する可能性もあります。

自己紹介が遅れました。高木と申します。祖父が建設会社(塗装)の創業社長。父が二代目社長、姉も土木技術士、物心ついたときからペンキと建設現場が身近にある、建設一家に生まれました。小学生の時から雑誌のゼネコン特集を読まされるなど、少し変わった

育ち方をしました。

私が大学生のとき、父の会社は倒産。私の学費のために母が貯めていたお金も、父が会社の資金繰りに使ってしまった、私自身も追い詰められます。父の会社のこと嫌な思いをしたので、新卒では建設業界に無関係の事業再生ファンドを選びました。2011年、赴任先の東北で東日本大震災を経験。そこで震災後の建設関係の会社の経営再建に関わることとなります。苦しむ会社を救うことができたのは、皮肉にも父の会社でいやいや身につけた建設と法律・会計の知識でした。命がけで災害復旧に当たる建設会社の姿に感動し、社長が急逝された製材会社の再建をする、といった経験を経て、結局ファンドから建設業界に戻るようになります。

現在は、工事会社向けにITサービスを提供するスタートアップ企業・クラフトバンク株式会社（以下、クラフトバンク）の創業メンバーとして、全国の建設会社の業績改善とデジタル化の支援、建設業協会などでの講演活動をしています。クラフトバンクの前身は内装工事会社の新規事業で、私は工事会社時代から在籍しています。

2023年、建設業界の人手不足に関し、テレビ朝日系列の報道番組「羽鳥慎一モーニングショー」やABEMAのニュース番組「Abema Prime」の監修、解説を務めました。

自分が建設業界で苦勞してきたからこそ、ゆがんだ商習慣は自分たちの世代で修正して

から次の世代に渡したい、そんな思いで活動しています。趣味は格闘技で、よく格闘技好きの建設会社の社長たちと飲んでいます。

建設業界は土木、非住宅、住宅、改修・解体と分野が多岐に渡り、大手ゼネコンから町の工務店までプレーヤーも複雑です。さらに、「人手不足なのに、職人の有料人材紹介と人材派遣が法令で禁止されている」など業界特有の法規制があり、取引をするうえで理解しておかなくてはならないポイントがあります。私は業界の中と外、両方の視点から「池上彰さん」のようにわかりやすく伝えることを意識しています。

また、これまで建設業界の書籍は東京の大手ゼネコンや有名建築家による建築物が多く紹介されてきましたが、本書では地方の中小工事事務所の経営者や「匠」と呼ばれる職人たちにも多く取材しています。

本書は建設業界に新たに関わる方向けに書いています。例えば「金融機関やコンサルティング、IT、人材、メディア関係の会社で初めて建設業界に関わる」「業界未経験だけど建設会社に就職、転職を考えている」方を想定しています。建設業界の方にも新たな発見があるよう、最新の事例を取材しています。

構成としては第1章で身近なものから建設業界全体のことがかかるようにまとめています。その後、第2章〜5章で土木、非住宅、住宅、解体・改修などの工事分野別の最新トピックス、トレンドをまとめ、第6章〜7章で建設業の採用、働き方、給料、第8章で業界の歴史、第9章で業界の未来とテクノロジーをまとめています。

- ・TV朝日番組「激レアさんを連れてきた」に出演した女性重機オペレーター
- ・戸田建設、LIXILなどの大手企業
- ・冒頭で紹介した国内外106万フォロワーの大工YouTuber
- ・長年建設業界の作品を描かれてきた漫画原作者の先生
- ・舞台役者からゼネコンの現場監督に転職した女性
など幅広くユニークな方々に取材しています。
- ・「能登の復興はなぜ遅れるのか？」を建設業界の視点で考える
- ・「昔やんちゃだった」建設業の男性が早々に結婚して家庭を築くのはなぜ？
- ・「建設業界はブラック」「中抜き」と呼ばれるのはなぜか？

・「医者より土建屋は批判されやすい」報道が建設業界のイメージを変えていった歴史などの建設業界の実態から見える社会問題もまとめています。

- ・家を買うときに気を付けることを「匠」に聞いてみた
 - ・マンションの修繕費不足はなぜ生じるのか？ 「正直不動産」監修のプロに聞いてみた
 - ・解体工事のプロから見た実家を解体するときのポイント
 - ・受験偏差値だけではわからない、資格と就職率で見る学校選びのコツ
- など日常生活に役立つ項目も盛り込んでいます。
- また、巻末にはより深く建設業界を知るための書籍等も紹介しています。

本書を通じて建設業界への興味や関心が高まり、工事現場で働く人たちに少しでも優しくなってもらえたら幸いです。

※1 建設業労働災害防止協会

※2 国内名目・国土交通省試算

※3 クロスメディアアブリッシング「漫画ビジネス」

序章 Chapter 0 : Japan's world-class sushi,anime,architectural engineer

日本が世界に誇る寿司、
アニメ、建設職人…………… 003

第1章 Chapter 1 : The world of construction business

トイレから学ぶ建設業界の世界

1 世界に誇る日本の建設技術	〇 20
〓地上450mでトイレが使えるのはなぜ？	
2 建設業界に関わる企業	〇 24
〓ゼネコンから町の工務店まで	
3 クイズでわかる建設業界	〇 31
〓橋、ダム、倉庫、店舗まで	
4 建設業界で働く人々	〇 37
〓意外と女性が多く、新卒が増えている	
5 建設業界特有の法規制	〇 43
〓職人は有料人材紹介も人材派遣も禁止	
6 業界トレンド	〇 47
〓景気は回復しているが、倒産・廃業も増加	
COLUMN 重機女子インスタグラマー Kaoriさん	〇 51

第2章 Chapter 2 : The world of civil engineering

ドローンから学ぶ土木工事の世界

- 1 ドローンと三次元データを普段使い 宮崎・金本組……………054
- 2 「文系」の若者が集まる土木工学会社 山形・新庄砕石……………059
- 3 土木工事のトレンド 談合から入札不成立の時代へ……………064
- 4 インフラテクノロジと就職氷河期世代問題……………067
- 5 能登の災害復旧はなぜ遅れるのか?……………072
- 6 壁を印刷? 土木工事×3Dプリンターの今……………076

COLUMN 建設YouTuber 石男くん……………081

第3章 Chapter 3 : The world of skyscraper

タワマンから学ぶ
ビル・高層建築の世界

1	タワマンと建築士についてゼネコンの人に聞いてみよう	086
2	ビルができるまでに関わる人々	092
3	「バリバリ文系」の電気工事のプロの話	096
4	ビルは人の手で仕上げる 左官職人の世界	100
5	お笑い芸人も取る資格？ ビルメンテナンスと消防設備業界	104
COLUMN	ゼネコンがスタートアップと連携する理由	108

第4章 Chapter 4 : The world of housing

大工YouTuberから学ぶ 住宅工事の世界

1	フォロワー国内外合わせ106万人の大工YouTuberと考える家づくり	112
2	若者が集まる工務店の社長に聞く大工の育成	117
3	東北のハウスメーカーが取り組む震災後の家づくり	120
4	「大工不足」はなぜ起る？ 家を直せない未来	124

5 L・X・Lと考える住宅建材の進化

COLUMN 大工の正やん親子とYouTube

1
3
1
2
7

第5章 Chapter 5 : The world of renovation

漫画『解体屋ゲン』から学ぶ
解体・改修工事の世界

- 1 作るプロがいるなら壊すプロもいる 解体屋ゲンと解体工事 1 3 6
- 2 解体・改修工事市場の仕組み 1 4 0
- 3 マンションの維持管理はこれからどうなる? 1 4 4
- 4 実家を取り壊すときはどうしたらいい? 解体工事のプロに聞いてみた 1 4 8
- 5 「匠」に聞く地震と家と土地の話 1 5 3

COLUMN 109巻続くレジェンド漫画『解体屋（こわしや）ゲン』 1 5 7

第6章 Chapter 6 : The world of recruitment and human resources development

工業高校・高専から学ぶ

建設業界の採用・人材育成の世界

- 1 学生1人に求人20社? 工業高校と高専の進路指導室の今…………… 160
- 2 女子大学と渋谷のファッション専門学校は、なぜ建築学科を開設するのか?…………… 165
- 3 建設業界の若者の採用を考える…………… 169
- 4 愛媛の小さな工事会社が毎年若者を採用できる理由…………… 173
- 5 建設業界の離職率が高いのか? ミスマッチを防ぐために…………… 178
- 6 結婚するなら公務員、銀行員、建設業?…………… 182

コラム 舞台役者から建設現場の監督に転職した女性の話…………… 187

第7章 Chapter 7 : The world of salary and work style

給与明細から学ぶ

建設業界の給料と働き方の世界

- 1 建設業界の給与明細 手に職、残業、日給…………… 192
- 2 建設業界の給料はぶっちゃけどうなのか？…………… 197
- 3 建設職人の給料はもっと上げられる…………… 202
- 4 安い大阪、大したことない愛知 地域間格差…………… 208
- 5 2024年問題で建設業界はどこまで変わるのか？…………… 214

COLUMN 「建設業界はやめておけ」というSNSの声と向き合う…………… 218

第8章 Chapter 8 : The history of construction business

徳川家康から学ぶ

建設業界の歴史の世界

重機から学ぶ 建設業界の未来

第9章

Chapter 9 : The future of construction business

- | | |
|----------------------------------|-------|
| 1 沼地を大都市「江戸」に「魔改造」した徳川家康 | 2 2 2 |
| 2 辰野金吾 東京駅と日銀本店を設計した日本近代建築の父 | 2 2 6 |
| 3 日本の戦後復興と建設業界
↳ 焼け野原からの再起 | 2 3 0 |
| 4 高度経済成長期の建設業界
↳ 黒部の太陽から田中角栄へ | 2 3 3 |
| 5 こうして多重請負が生まれた
↳ バブルが残したモノ | 2 3 7 |
| 6 「空白の30年」 建設業界の報道の歴史 | 2 4 1 |
| COLUMN ドイツのマイスターと日本の職人の違い | 2 4 6 |
| 1 プロゲーマーが遠隔で重機を操作？ 重機、建設機械の今 | 2 5 0 |
| 2 工事会社発スタートアップ・クラフトバンクが目指す未来 | 2 5 4 |
| 3 建設業界を変化させる経営者の世代交代 | 2 5 9 |
| 4 「昭和」を終わらせる法改正 | 2 6 3 |

5 AIが事務職を淘汰し、「手に職」の職人が残る？

6 建設業界のこれまでと未来

268
272

終章

Chapter 10 : What will we leave behind in 300 years

300年後の子孫たちに
何を残すのか

277